

令和2年度第2回日進市一般廃棄物処理基本計画策定委員会

日時：令和2年12月22日

午後1時30分から

場所：日進市役所4階 第1会議室

1 あいさつ

事務局：年末の大変お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は9月7日に開催いたしました第1回策定委員会に続いての開催となります。本日までみなさまから選出いただきましたメンバーにより運営委員会を構成し、10月、11月の2回委員会を開催させていただき、市民の方へ配布するアンケートを、内容や構成についてさまざまなご指摘をいただきながらここまで作りあげてまいりました。本日はこのアンケートの案をみなさまにご提示させていただいて、最終的なご意見を頂戴して、最終的には承認をいただきたいと考えております。

それでは早速進めさせていただきたいと思いますが、まず資料の確認をさせていただきます。事前にお送りさせていただいた資料1～4ですが、まず資料1が9月28日の段階で送付させていただいた時のアンケート調査票です。資料2が、12月1日修正版ということで、現時点での最終版の調査票になります。続きまして資料3が、アンケート調査の骨子と設問の理由になります。資料4が、最終的に現在いただいた変更の一覧表、ご意見をいただいたものに対する回答の一覧表になっています。

また、本日机上に2枚お配りさせていただきました。まず1つが、委員から事前はこの資料を郵送で配布させていただいたあとにいただいたご意見をまとめた一覧表です。また、2つ目が今後のスケジュールを示しております。本日の資料としては以上ですが、欠落等はございませんか。

それでは本日の定足数についてご報告をさせていただきます。一般廃棄物処理基本計画策定委員会の委員定数11名に対しまして本日は8名ということで過半数に達しておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。

また、会議については原則公開となりますのでご了承ください。なお、本日の会議ではアンケート調査票のご承認をいただくところまで進めさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、ここから先は議長が委員長を行うこととなっておりますので、進行をよろしくお願いいたします。

会長：みなさまこんにちは。本日は、年末にお集まりいただきましてありがとうございます。今日議論を予定しておりますアンケートは、今後施策を決める上で非常に重要なものとなっておりますので、ぜひ中身の濃い議論をいただきまして、運営委員会ではかなりつつこんだ意見も議論しましたが、もっとしっかり詰めていきたいと思っております。

のでよろしくお願いいたします。

それでは、本日第2回の策定委員会を開催させていただきます。まず本日の傍聴者はいらっしゃいますか。

事務局：おりません。

会長：では、いらっしゃらないということで、このまま進めたいと思います。

2 議題

(1) アンケートについて

会長：それでは議題に沿って進めたいと思います。アンケートについての協議を進めていきます。では、事務局より説明をお願いいたします。

事務局：まずアンケートについてですが、平成28年度の計画見直しの際に、ごみ減量の方策を見出すためにアンケートを実施いたしました。アンケート結果を踏まえて計画の見直しを行い、埋め立て処理量削減のために分別方法の変更の実施へと結びつけて資源リサイクルの推進に取り組んできました。事前に配布した資料3をご覧ください。今回の計画の見直し後は焼却処理量の削減として燃やすごみの量の削減を進めていきたいと考えております。そのための方策として、Aは水分の削減。Bは食品ロスの削減。Cは紙類の分別。といった3つを想定しています。今回のアンケートではAからCの方策に関連した設問を設定して計画見直しのための基礎資料として市民の皆さんの考えや行動・性向の把握をしたいと考えています。なおAからCに関連する質問以外にもその他として戸別収集に関する設問など今後の施策の参考とするための設問も設けています。資料3では各設問がABCその他のどれに対応しているかに加えて設問の設定理由も簡単に記載させていただいています。

本日は資料1からその間に2回の運営部会を経て変更を行った資料2への変更について説明させていただきます。それでは資料1の該当のページで説明させていただきます。まず全体を通してですが、文章は長くて読みづらく設問の数が多いということで、そのあたりをできる限り見やすくして設問数もできるだけ減らすようにということを、全体を通してやっております。まず表紙からですが、全体的にスペースがなく詰め気味につくられていたので全体的に見やすくするためにタイトルに色を付けて、文字数を減らし文字も大きくして間隔を開けて見やすくしました。目次として最初の所に構成を載せることでこのアンケートがどのような構成になっているかが掴みやすいようにしました。記入にあたってのお願いという所があるのですが、こちらを裏面に持って来まして、字も間隔を開けて読みやすくして「なるべくお一人でお答えください」ということも追記しました。続いて1ページの問1—①から問1—⑩までですが、こちらは回答者の世代状況などの設問になっていまして年齢区分や構成人数、職業、お住まいなどによってどのような違いがあるのか前回と同様に比較す

るための設問です。問1の①で性別を問う設問があったのですが、ごみ処理や資源化について質問する上で性別を問う必要がないのではないかとということで削除しております。問1の④こちらのごみ処理資源化について聞く時に世帯主かどうかを問う必要がないのではないかとということで削除しました。問1の⑤はごみ出しをやったりやらなかったりする場合がありますし、質問する必要性が低いことから削除しております。続いて2ページの間2ですが、こちらは市民のごみ問題に対する意識に関する設問です。こちらは9月28日の資料1だと設問と説明文が混ざって見にくかったため説明部分と質問の部分に分けて読みやすくしました。また、選択肢で深刻という言葉が重たい印象でしたので、問題という言葉に変更しております。続いて3ページの間3ですが、こちらはごみ減量への取り組みについての設問です。こちらは設問の文章をシンプルにして回答しやすいように選択肢を整理しました。続いて問4ですが、市内におけるリサイクルなどに関する取り組みの認知度に関する設問です。こちらは選択肢を精査して不要なものを削除しました。問5は前回の計画の見直し後に実施した施策自体の評価を問う設問から変更に関する周知が理解しやすかったかどうかを問う設問に変更しました。問6から問8ですけれど、こちらは地域での資源回収活動に関する設問です。こちらについては問8の選択を整理しております。続いて問9、10ですけれども、新聞紙に特化して質問する必要性が低だろうということで削除しております。続いて5ページから6ページにかけての間11こちらは小さい設問の数が非常に多いため問11としては削除しまして、問9、問10という形で再編成しております。それぞれの設問ではごみを出さないようにするための取り組みや生ごみの水分量削減についての取り組みについて質問しています。また、新しい問10は水分を減らすことが経費削減に繋がるということに記載するようにしました。資料1、7ページ問12、13こちらは電動生ごみ処理機やコンポストに的を絞った設問ですが、こういった質問をする必要がないだろうということで削除しております。次に問14こちらは、選択肢の文章が長かったので読みやすくするために選択肢の文章を短く整理しております。続いて問15こちらは分別方法の効果的な周知について情報を得るために設けた設問です。こちらは内容に変更はありません。続いて資料1、8ページ問6こちらは、生活排水についての取り組みを確認するための設問で、前回のアンケートと同様に設けました。ただ、設問数が多くて回答方法も分かりづらかったのでシンプルな形に変更いたしました。8ページ問16の(3)に煮物の汁など、可能なものは新聞紙などにしみ込ませごみとして出すとあったのですが、こちらの部分で紙は資源としてリサイクルしてほしいと考えておりまして、紙をごみとして出すことを推奨していると誤解を招く可能性のある記述は適切ではないのではないかとということで削除しております。続いて資料1の9ページ問17こちらは資源回収拠点の数ですけれども、こちら質問する必要性が低だろうということで削除しております。問18と問19ですが、こちらは資源回収拠点で回収してほしい品目や

集積所で紙類を収集することについて市民の皆さんの考えを窺うための設問です。問 18 では大まかに並び順を整理しました。続いて資料 1 の 10 ページ問 20、問 21 については、分別方法や収集回数についての設問を前回のアンケートと同様に設けております。問 21 では回答をしやすくするために選択肢の言葉の表現を変えました。続いて資料 1 の 11 ページ問 21、23 では、ごみ袋の価格や大きさについてご意見を尋ねる設問となっております。問 22 についてはごみ袋の金額を記載することによって分かりやすく変更しました。問 23 については、選択肢をより細分化して回答しやすい形にしました。続いて問の 24 こちらは、集積所に関する設問ですが、集合する必要性が低いと考えまして削除しております。続いて資料 1、12 ページの問 25、26、27 この 3 問につきましては、戸別収集に関する設問として設定しておりましたが、戸別収集について 3 問質問するのは多いということで、25 と 26 は削って問 27 の 1 つだけにしました。そして資料 1、13 ページ問 28 については、市の取り組みに対する市民の方の考えを把握するための設問ですが、項目を減らすとともに、経費が掛かったとしてもやる必要があるのかどうかということを探るために設問分を変更しております。問 29 は効果的な集中広報についての情報を把握するための設問で内容に変更はございません。その他ですが、資料 2 の 12 月 1 日修正版を見ていただくと、資料 2 の 10 ページに自由意見欄を設けさせていただいて、ご意見を自由に書ける形式にしました。その下に提出期限を明記するようにいたしました。その後参考資料として日進市のごみに係るデータということでごみの推移や年間処理経費、組成調査の結果を資料として載せさせていただき、裏にごみの資源がどのように流れているのか参考にするために【家庭系ごみ・資源の流れ】といったものを追加させていただきました。それではいただいた意見をもとに修正したものが 12 月 1 日の資料 2 のものになっておりまして、こちらを送付した後にいただいたご意見、冒頭でもご説明させていただきましたが、それをまとめたものが統一資料 1 ということで今日配らせていただいておりますので、この後各設問の内容を確認する中でご意見をお願いしたいと思います。駆け足になりましたが説明は以上です。

会長：ありがとうございました。全体の最終的な承認は最後にみなさまにお願いし、まず 1 つずつ確認をするということによろしいでしょうか。

まず全体に関してご質問があればいかがでしょうか。今確認したい、意見を出したい方はどうぞ。

委員：ごみの集積所とごみの回収ステーションは、意味は一緒でしたか。

事務局：一緒の意味で使っています。

会長：意味は違いますよね。戸別収集方式に対して、1か所に集積するステーション方式という意味で問20は使われているのですよね。

事務局：もし入れるなら「方式」と一緒につけるかどうかですね。

会長：「1か所に集積する方式」という方がわかりやすいかと思います。

副会長：これは「集積所回収」とするのはだめなのですか。他のことでいろいろ問題が出ますか。

事務局：問題はないですが、地域で集めている地域回収の集積所と読むかどうかということになります。

会長：現在の集積所、集積方式などはどうでしょう。

事務局：やはり「方式」という言葉で分けた方がわかりやすいでしょうか。

会長：ステーションというのは突然出てくるので、同じ意味ではありますが、対比した言葉として使っていらっしゃるのでは。

事務局主幹：問20を「ごみ集積所での回収」という言い方にすると統一感が出てくると思います。

副会長：他に影響がないようなら、少なくとも同じ言葉を使った方がよいと思います。

事務局：「ごみ集積所での回収」に変えます。

会長：他にいかがでしょうか。

委員：当日資料1で、アンケートの新しい方の2ページ目、問4の設問文ですが、「市内ではごみの減量やリサイクル推進のために以下の取り組みが行われています。」というところを「行っています」と能動的にした方がよいのではないかという意見のところにも書いてありますが、「市内では」と書いてあるところが次の3ページ目の問5では「本市では」となっているので、「市内」なのか「本市」なのか、統一したほうがよいのではないかと思います。

事務局：「本市では」に修正させていただきます。

会長：「本市は」と「本市では」は違います。「本市では」は受け身で「行われている」、「本市は」は能動的で「行っている」です。統一し、修正してください。

事務局：わかりました。

委員：次に、3ページ目の設問5、『金属類』との分別と」という文章ですが、これは誤字修正でした。また、「内容の変更に関するお知らせについてどのように思われましたか。」と聞いていますが、「ご理解いただけましたか」や「わかりやすかったですか」というような書き方にしたほうがよいのではないかと思いました。

続いて、3ページの間6です。「あなたの住んでいる町内で、町内会や子供会等が資源物地域回収を実施していますか。」と聞いています。実施していると答えた場合は、問7にスムーズに移行できますが、実施していない、またはわからない場合は問7へ行かなくてもよいと思ったので、問7から問8への矢印移行のように、問6から問7に対しても、実施しているに丸をつけた人だけが問7へ移行できるように矢印があったほうがよいのではと思いました。

また、通番6、6ページの間14の設問文です。「お近くの常設の資源回収拠点で新たに回収して欲しい品目についてお聞きします。」とありますが、「新たに」とついてしまうと、現在回収している品目を知っているか知らないかが前提になってくるものですから、それよりは、そこがわからなくても「あなたが欲しいものは何ですか」というふうに聞いた方がより答えが出しやすいのではないかと思い、「新たに」という言葉はいらないのではないかと思いました。

また、7ページの上段の説明文についてです。「本市のごみ収集運搬費用は約3億円、（中略）ごみ処理に関して年間8億円以上の経費を要しています。」と書いてあります。ずっと経費がかかる話が続いていくのですが、せつかく巻末に参考資料がありますので、この文章を読んでさらに参考資料を見ていただくと、より次の質問が深まっていくのではないかと思いました。ここに「参考資料2、年間処理経費」と入れるとよりわかりやすいのではないかと思いました。

続きまして、8ページ、問20の1行目に「ゴミのステーション回収には、年間約3億円を要しています。」とありますので、せつかくならもう少しわかりやすく、問18に8億4,000万円と書いてあるのですから、「8億4,000万円のうちの3億円を要しています」というようなかたちで追加してみたらいかがでしょうか。

そして、問20はもう1つあります。2行目から「戸別収集にした場合、収集箇所が増え、人件費やトラックの増車等により年間費用が2倍以上になることが予想されます。」とありますが、これだけだとデメリットばかりに見えてしまうものですから、

メリットもあるのだということで、例えば「出しやすくなりますが、収集箇所が増え」というように、メリットとデメリットの両方を併記したほうがよいのではないかと思います。

そして、最後です。9ページ目の問21です。市が取り組みをしようとして、住民のみなさまにメリットがあるものが多いとは思いますが、ここもやはり経費のことがあるものですから、例えば、収集方法の見直しで1億かかりますが、それでもよいですかと、一つひとつにおおまかな経費が書いてあるとよいのではないかと思います。逆に、例えば、5. 資源回収拠点の増設は1か所あたり10万円でできますと書いてあると、そんなに安くできるのであればどんどん増やしてほしいというふうに、住民の方が、必要があるかどうかを考えやすいのではないかと思います。

会長：ありがとうございます。回答をお願いします。

事務局：委員のご意見を当日資料①にまとめさせていただいていますが、通番1が資料2の2ページ目の問2と問3で内容が重複しているのではないかとということで、問3は削除するのはどうかというご意見が出ておりました。問3を削除してもよろしいでしょうか。

会長：問3を残すかどうかですね。

副会長：全部重複しているわけではなく、問2は行動のことを聞いていますが、問3は意識のことしか聞いていません。ですから、行動ということを我々は重視すべきだという観点に立てば、両方を合わせたかたちで、問3をベースに「いつも意識して行動している」、また、「時々意識して行動している」という選択肢にすると、両方を満たすのではないかと思います。

また、問2は幅広の聞き方をされていて、循環のことや地球環境を考えてという意味合いも入っているようですが、これはごみ施策の話なので、私はそこまでの意識を問う必要はないと思います。

委員：アンケートは自分が回答していると、なぜこんなに同じことばかり聞くのかと意識することがあるのですが、広い中でいろいろな項目を出して、そこから事務局がきちんとまとめてくださるので、何でも少なくすればよいというものではないと思います。

会長：最後どうやって分析するかですね。

委員：そのためのアンケートですから。

会長：あまり多くても途中でへこたれてしまいますが。

委員：少なくすると、アンケートの意味がどこかで削られてしまうこともあるのではないかと思います。

会長：関係しているところは同じであれば消してしまうことが必要ですが。ありがとうございます。他にご意見はいかがでしょうか。

委員：問2はごみ問題全体として問題だと考えているかどうかの問いだと思うのですが、大きな2.は、その中で踏み込んだ、ごみ減量とリサイクルについて伺うものなので、私は両方あってもよいのではないかと考えています。答える人が、最初はやさしく各自自分の行動を顧みて、その後は踏み込んだ見方をしているので、アンケートに向き合いやすい感じがしています。

副会長：確かに、最初に誘導用のアンケートとして使うという意味合いもあると思いますが、問2は意識の問題だけ聞いて、問3で行動をつけたほうが、その意味合いは強まりますね。そうであれば、問3への誘導として問2を残すというのは、ある程度意味はあると思います。

委員：問2はごみ問題全体ですが、問3は減量やリサイクルなどポイントを絞って、逆にわかりづらくないでしょうか。ごみ問題というのが大きすぎて、リサイクルや不法投棄などいろいろなものが含まれるので、一本化はしていけないと思います。

委員：ここにリード文があるので、そのことについての問題を考えているというふうにとれますが。

委員：そのような位置づけで、問2はリード文に対する意識を聞くようにすればよいのではないかという意見です。

副会長：それも1つの方法かもしれないです。

委員：問2の質問は日頃の暮らしの中で、ごみ問題を意識していますかの方がよいでしょうか。リード文があって、こういったものをみなさん知っていますかという質問も含めた問いなので、問2が意識していますかで、問3があなたはそれに対してごみ減量やリサイクルなど具体的な行動をされていますかの方が順番的にはよいのかもしれない

いですね。

会長：残して、問題という言葉を変えましょう。上の点線で囲った文を受けているという文章に修正するということにして、問4は変えて、問3はそのままということによろしいですか。

副会長：問3は「行動」というのを入れていただいて、リサイクルを意識して行動していますかということで、問2は意識だけでお願いします。

会長：点線の中は少し長いので、3行ぐらいにならないでしょうか。5行あると読めないの
で、少なくとも2行は減らしていただきたいです。

事務局：わかりました。

委員：問2はどういう感じになるのですか。問3は大変答えやすいですが、問2になるとご
みの問題はとても大きいので、どのように答えるのでしょうか。

副会長：問いと選択肢はかなり変わると思います。例えば、「ごみ問題は重要だと思います
か」や「地球環境に対するごみの問題を意識していますか」という聞き方もあります。
そのあたりは事務局にお願いします。リード文が地球環境に対するごみの問題は
大切ですよということを行っているわけで、あなたは知っていたと思いますが意識
していましたかということをお問う質問になると思いますので、答えやすいような質
問をつくっていただけたらと思います。

事務局：ごみの問題は本当に幅広い話で、ごみ問題という意識はないのかもしれませんが。

副会長：知らないという人はいませんが、地球環境に負荷を与えているということまでは、
あまり気がついてなかったり意識していなかったりする人もたくさんいるので、そ
れはどうなのだという質問はありうるとは思います。

事務局：ごみの問題や課題が重要だということをお知らせするような問いかけに考えてい
きたいと思います。

副会長：しかし、リード文にそのように書いているので、これは気がついていますがとい
うことなのでしょう。

事務局：まさにそういうことです。破線の部分と併せて、世界的なごみの問題というものはみなさん意識があると思いますが、そこに対する問いかけにもっていきます。

会長：この点線の中の文章も偏っています。よく読むと、温室効果ガスが出るから地球が環境に負荷を与えていると書いてありますが、それは違うでしょう。ごみそのものも生物の多様性に影響を与えています。最近マイクロプラスチックになったごみを食べる問題もあり、燃やすから環境負荷がかかるという問題だけではありません。むしろ市民の方はごみそのものが害なのだと思っていますよ。

事務局：インパクトとしてはやはり海亀の映像が、一番印象が強かったと思います。

会長：おそらくごみそのものが生物に悪影響を与えているという方がずっと意識が高いと思います。

事務局：そもそもは、循環して人間の捨てたものが人間に戻ってくるというものです。

会長：その方がずっと意識が高いと思います。

事務局：そういった観点も含めて、この破線中の文と設問を考えさせていただきます。ただ、やはりごみの問題ということを外すということだけはできませんので、そちらに誘導していくようなかたちに考えていきます。

事務局：通番2はおっしゃられた通り「本市で取り組みを行っています。」と修正したいと思います。

通番3、こちらは誤字の修正ですので、この通り直したいと思います。

通番4、3ページ、こちらは「ご理解いただけましたか」というように修正させていただきます。

通番5ですが、3ページの間6で、2や3と答えた人ですが、矢印をつけてしまうと、間8を答えないようにになってしまうと思います。

副会長：矢印をつけると、わからないと答えた人が漏れるということですね。理屈がわかりました。

委員：間6ですが、公民館に置いてあるものは、町内会が実施しているものですね。

事務局：公民館に置いてあるものは常設の資源回収拠点とあって、これとは別のものです。

委員：エコステーションのもう少し小さいバージョンですよね。それはこの問6にはいって
いますか。

事務局：入っていないです。

委員：入らないとなると、公民館を利用する人は、問7は答えなければいけませんよね。問
6で1だけが問7に行くと、2や3は問7に行けなくなってしまうので、やはり矢印
はなくてよいのではないかと思います。

会長：問7には公民館など、そういったものも入っているのではないかということですよ。

事務局：基本的には問6と問7は一緒のもので、町内会や子ども会が行っているもの限定と
いうつもりでつくっています。

会長：民間の資源ポストのようなものはこれには入っていないということをきちんと伝え
なければいけないわけです。2つあるけれども、ここでは町内会や子ども会が運営す
る資源回収が対象だということをきちんと伝えるように文章を直す必要があると思
います。

委員：逆に言うと1番から矢印が必要ですね。

会長：問6で2や3に丸をつけた人は、問7と問8は答えなくていいのですか。

副会長：実施していないから関係ないというのであれば、2は外れてもいい気がしますが、
わからないと答えた人は拾わなければいけないのではないですか。

会長：そもそも迷うということはよい聞き方ではないということです。

事務局：問8で選択肢1を選ぶ方は問6で2を選ぶと思っています。

副会長：そういうことですよ、同じですよ。

会長：今は結論が出ないので、構築が悪いのでしょうか。全体が21のうちの3つですから、
3つ使って聞く必要があるかということです。

副会長：問8だけでよいのではないのでしょうか。

事務局：問6と7の関係を考え直します。問8を本来聞きたいと思っています。

副会長：結局聞いて何をやるのですか。資源回収の活動を推進するあるいは足りないところを見るためですか。施策の方向性をどうしたいかで、聞き方が変わると思うのですが、町内会や子ども会の手当をしっかりと根拠づけるのが目的なのではないのでしょうか。

事務局：地域の慣習をご存じでなかったり、利用していない方の利用促進のためです。

副会長：利用促進したいのが聞きたいことなので、問7と問8がこのようなセットになっているということですね。

事務局：聞き出したい目的を明確にして、そこへ導く逆の方向から見て設問を見直します。

会長：問8を基本として、問6と問7を1つにするか、問8の中に入れるかということですね。ではそのように修正してください。ありがとうございます。

事務局：通番6は、新たに削除ということによろしいですか。

通番7ですが、参考資料を付け加えるということによろしいですか。

通番8は、3億円と書いてあるところを、8億4,000万円のうち3億円というかたちですね。当日資料に書かせていただいた案としては、ごみのステーション回収にはごみ処理資源化にかかる年間経費約8億4,000万円のうち3億円と書いています。

会長：「4. 市のごみ収集の方法についてお伺いします。」と7ページに書いてあります。点線で囲ってある最初の文章がありますが、「ごみ収集運搬費用は3億円」と同じことですね。言葉が変わっているからわかりにくいというのと、ここに書いてあるということ的前提にすれば、言葉も変わっています。「ごみ収集運搬費用約3億円」と言って、次に「ごみのステーション回収には年間約3億円を要しています。」とは、違うことを言っているのではないかということがありますので、点線のところは、全部足して8億円といているけれど、あとで4億円と問18で言っています。8.4億円というのを約8億円って言っています。これも別の事を言われているような感覚です。普通は全体で8億円かかって、収集には3億円かかるというように、点線の部分にそう書けば、あとは同じことを2回言わなくてもいいので、年間3億円を収集で使っていますということは書いてよいと思うのですが、8.4億円をもう1回言うのは必要ないと思います。最初の言い方がぼやっとしていてわかりにくいので、8.4億円のうち

3億円使っているということを最初にさっと出してインパクトをつければよいと思います。

委員：1世帯22,432円という数字をどこかに入れてほしいです。

会長：最初に入れますか。

委員：最初に入れて、ここで意識を高めてもらいます。

会長：問18の1世帯22,432円というのを最初の破線のところに持ってくれば、全体と1世帯の数字を見せられるので、より理解しやすいですね。

副会長：その順番でぜひ書いてほしいです。

事務局：最初のところにまとめた方がいいですね。

副会長：1世帯あたり22,000円、市全体の予算は8億円です。そのうち収集経費が3億円ですと書くのがたぶん一番わかりやすいです。

事務局：わかりました。順番に明確にわかりやすくしていきます。

副会長：問18であれば1世帯22,000円かかっています、問20であればごみの集積所での回収は3億円とあり、点線の中の文が大前提の話になっています。そうすると、質問よりも目立つようにしておいた方がよいと思います。字体も明朝体ではないものがよいと思います。

会長：点線の囲みと問16の間に2行ぐらい空けて、改行を効果的に使い、ぱっと見てこの1つがわかるようにレイアウトしないと読み飛ばしてしまいます。

事務局：一番大事なところなので、目に留まりやすいように気をつけます。広報などをつくる上でも一番重要なところですよ。

会長：ごみ関係のキャラクターはないのですか。

事務局：一応ありますが、明るいイメージがなく、どちらかというと不法投棄を監視しているキャラクターです。今後そういうものは考えます。

事務局：通番9ですが、戸別収集にした場合、メリットとして「出しやすくなりますが」という文を後に入れるということによろしいですか。

会長：戸別で出すと、誰が出したかわかるからいいかげんに出せない。本音はそこにあるのですよね。戸別にするとということは、責任を持ってきちんと分別するということです。量を減らすために、名古屋市さんもそれが目的で戸別にしたのではないのでしょうか。

副会長：おそらく先生の言うメリットというのは、収集者からみたメリットではないですか。ここでは、出す方のメリットの話ですので、「出しやすくなりますが」というのは入れてよいと思います。

事務局：入れさせていただきます。

委員：メリットもありますが、そこには経費もかかるということですよ。メリットだけのことだけではなく、お金もかかるということもどこかにないといけないのではないですか。

副会長：問20にあります。出しやすくなりますが、収集箇所が増え、人件費やトラックの増車等により年間費用が2倍以上になるということだけ書けばよいと思います。

委員：そうですね。そういうのがないといけません。

会長：1人あたりいくら増えるかはいかがでしょうか。

副会長：そうですね。そういう方がよいかもしれません。1世帯あたりおよそいくら増えることになりますか。

事務局：おおよそですが、最低限のものだけで計算するとだいたい2倍ということです。その他の付帯的なものを加えると大きく変わると思います。

事務局：最後が9ページの問21ですが、ここの各項目に必要な経費を書いてはどうかというご意見をいただきました。収集方法の見直しでも、どのように見直すかによって金額も変わってきますし、ごみ出し指標の評価なども、具体的に何を行うかによって、例えば、集積所の増設についても工事が必要なものなのか鉄かごを置くだけなのかなど、条件によっても変わってきてしまうので、一概にこの金額ですというのをここに明記するのは難しいです。

事務局：金額が具体的に載っているとわかりやすいということはあると思うのですが、いかんせん経費の金額の拾い出しが一律に集計しにくく、全体に入れるとなるとなかなか困難だというのが回答です。

副会長：このアンケートの目的というのは、一般的なニーズを探ることなので、経費の金額を書くこと自体無理ですし、書かなくてよいと思っています。ですから、収集方法の見直しというのは、適切な項目ではないような気がします。これは何のことかわかりません。戸別収集の話はもう出ています。

委員：これは具体的な金額がなくてもしかたがないと思いますが、自分が収集している時に、そんなもの出しにくいならこっちにつくれ、なぜ目の前に取りに来ないのだと平気で言う方もいらっしゃいます。施策が打ち出の小槌のようにすぐにできるような感覚でいらっしゃる方がたくさんいるものですから、業者側からすると、実は環境課さんも含めて結構大変な思いをしながらやっているということを少し認識してほしいという思いから、必要経費を載せるのもよいと思いました。

会長：ちなみに、ごみに関する行政に必要な経費というのはいくらですか。処理費年間8億円と言われていますが、その他ステーションの整備などを含めると全体いくらかわかりますか。

事務局：全体で8億4,000万です。

会長：不法投棄等も含めて8億4,000万円ですか。

事務局：あくまで市が負担する部分だけの経費だけです。結局人件費などそこから先の部分についてはここには含まれていません。

会長：費用は個別には書かないということにしてください。

副会長：あとは問21の1から10までの項目ですが、具体的に何をするかわからないと判断できないと思います。例えば補助金の充実や、増設、強化、啓発、情報発信の強化などはわかりますが、収集方法の見直しというのはわからないと思います。これは何を意図しているのでしょうか。意図がなければ外してください。あるのであれば、その内容を書いてほしいです。

事務局：例えば、バイオ施設をつくって、生ごみだけをそちらの方にリサイクルに回していきたいとすれば、今の燃えるごみもバイオに回せるものとそれ以外のものに分けるというような場合です。

会長：それはあり得ると思います。容器包装を分けるというのはこれから出てくるとは思います。

事務局：そうだと、収集方法の見直しとなるかわかりません。

副会長：収集方法の見直しでそこまで思い至ることのできる市民は少ないので、これは具体的なものがないのだったら外してほしいと思います。

事務局：わかりました。

会長：プラスチックは別で集めてほしいという意見はあるのではないですか。例えばプラスチックの分別回収と書けばよくわかると思います。

事務局：そうですね。ただ日進市の場合も容器包装プラを分けています。

会長：そういうものを意図しているのであれば、ここに具体的に書けばよいと思います。

事務局：2の収集方法の見直しというのは、戸別収集に切り替えるかどうかということで、前のものがそのまま残ってきたので、もし新しいものを何か考えるのであれば具体的に入れます。

会長：わかりました。事前に出た意見はこれでよろしいですか。ありがとうございました。では何でも結構ですので出してください。

委員：問21の収集方法を見直した分、集団回収というのは、さっき出てきた地域回収とはまた違う回収があるということですか。町内会の回収と違うのですか。

事務局：同じです。言葉を直します。

委員：4ページの間9の5で、リサイクルショップで購入するとありますが、問題はごみの分別や出さないようにするための取り組みで、リサイクルショップで購入するというのは少し違うのではないかと思います。リサイクルショップで売るのはまだわか

りますが、購入するのはごみを減らすことや分別とも違うのではないかという気がしました。

会長：リサイクルショップを「利用する」としたらどうでしょうか。

事務局：「利用する」にします。

委員：生ごみは水分を含んでいるので、絞って水を出すことによって、税金がずいぶん変わるというのを聞いてから、意識が変わりました。水を切るのはわかっていますが、1回絞るといのは意外と知られていないと思いますので、どこかに入れられないでしょうか。

会長：問10で水切りをすると書いてありますが、絞るといことは書いていません。問10の問いかけか選択肢にそのようなメッセージを追加してもらうのはどうでしょう。

委員：市民にそれがどこかで伝わるとよいと思っています。

委員：「生ごみは捨てる前にひとしぼり」とパンフレットに書かれているので、それを入れていただければよいと思います。

会長：付け加えるか、増やしてもよいかもしれないです。

事務局：そこを拾い出すのであれば、1項目個別追加したほうがよいかもしれません。

会長：意識の高い方が拾います。

委員：「さらに」という言葉を加えてください。

会長：最後に袋に詰める前にさらにしぼるということですね。

委員：絞るとお金がどれくらい違うかは、きっと市議員の方で数字が出ていると思います。

会長：1日で市民1人当たりだいたい800グラムくらいですよ。

事務局：ただそのうちの40%くらいは水分ということになっています。

会長：ペットボトルのキャップ1杯が7グラムぐらいで、だいたい1人キャップ1杯ぐらいの水をしぼってくれば、800グラムのうち5グラムぐらい減ります。全然違います。

事務局：このアンケートを行って、その分析を行い、来年度以降の計画をつくっていく中で、目的としては水分を減らしていきたいというのを表に出していきますので、では具体的にどの段階でどこに、1人どれくらい減らしていけばよいのかという具体的な例を、4月以降みなさんと考えていきたいと思います。

会長：みなさんよろしいですか。他にいかがでしょうか。

委員：3ページの間8に回収という言葉と収集という言葉がありますが、いろいろ混ざっています。その使い分けがよくわからないのではないのでしょうか。きちんと使い分けられているならば問題ないと思いますが、読んでいると同じところに出てきます。

事務局：こちらも運営部会でご意見をいただきまして、厳密に言うと、収集は集める事、回収は一旦配ったものを集めなおすという意味合いです。そうすると、全部収集になってしまうという話の中で、資源回収のように、回収という言葉の方がなじみのあるものを収集としてしまうと、逆にぱっと見た時に市民の方が理解しづらくなってしまいうのではということもあり、回収や収集が混ざったような表現にさせていただいています。

会長：間8では、3だけ収集で、少し違和感があります。ここは回収に直したらどうですか。

副会長：資源に対しては回収で、ごみ全般は収集と統一すればよいのではないですか。

事務局：間8は資源回収の話をしていきますので、3番は回収だと思います。全体として資源以外のものを集めるのとは使い分けをしていきたいです。

会長：資源は回収、ごみ全般は収集にしてください。他にいかがでしょうか。

委員：間9についてです。普段の生活においてごみの分別や出さないようにするために取り組んでいることということですが、項目を見ていると、ほぼ出さないようにするための項目で、分別に関しては項目がない気がします。私どもは資源回収の会社ですが、分別が専門なので、後半でプラスチック製容器包装や紙製容器包装マークが出てくるので、そのマークについて少し触れてもらいたいと思います。マークを知っているか知らないか、また、意識しているかという項目を入れると、後半の質問にも繋がる

のではと思います。分別についてももう少し項目があるとよいと思いました。

会長：確かに、マークがついているものは分別をするということを伝えるというのは大事なことです。

副会長：マークを確認して購入している、リサイクルマークを見て購入しているなどですね。

委員：SDGsでは、12. つくる責任 つかう責任とあります。容器に関しては、袋に、燃えるごみで処分してください、これはリサイクルできます、リサイクルしたものですなどいろいろな表記があり、それを読んでごみの分別を意識していますかという質問をしてみるとよいと思います。

会長：リサイクルマークを確認するような行動をすることを1つ入れてもらうということでもよろしいですか。

委員：あとは、紙の分別は意識しているというのもあるとよいと思います。

事務局：追加させていただきます。

会長：「12. WEB新聞を購読している」は、利便性のことだと思います。

副会長：12番はやめたらどうですか。12番の代わりに、リサイクルマークを確認しているかにする方がよいと思います。

会長：順番は考えていただきましょう。他にいかがでしょうか。

委員：買い物に行くと、昔はすぐ袋に入れてくれましたが、今は、袋はいくらですよと言われます。政府に言われたからお金をかけてビニール袋というのではなく、もっと企業努力をしてほしいと思っています。紙袋でお客様に買っていただいたという気持ちがずれてきているように感じています。

会長：問9の4のプラスチックより紙を優先して購入するに近いかもしれませんが。ただ、今おっしゃったのは企業側の姿勢で、企業側の行動については次の大きな課題です。ですから、次年度以降議論していくことでお願いします。重要なことですが、取り組みづらいということもあり、なかなか企業全体としての行動がまだちゃんとそろっていないということです。他にいかがでしょうか。

問 13 の排水対策についてです。アンケートの大きな題目はごみ・生活排水に関するアンケートですが、生活排水については問 13 だけです。ですから、選択は2つで、独立するか、取ってごみに関するアンケート調査にするかどちらかだと思います。

事務局：排水についても計画の中には盛り込まなければいけません。タイトルがごみ・生活排水に関するアンケートですので、まずごみの方を聞いておいて、最後に排水についてというようなかたちにさせていただきます。目次で項目が1つ増えるようなかたちに直します。

会長：それから、問 22 ですが、役立っている情報元は何ですかということではなく、何から情報を得たいのか、本当は何を利用したいのかをもう少し丁寧に質問していただきたいです。

事務局：役立っているというのはおかしいですね。情報を得やすい項目は何かを問うべきです。

副会長：情報が何に載っているとよいかということですね。

事務局：我々としても、どの手法を使えばみなさんにこの情報が伝わりやすいのかとお尋ねしたいです。

会長：ではそういう聞き方をしてください。

副会長：何に載せてほしいですかという聞き方をお願いします。

事務局：今は広報とホームページで、アプリも始めましたけれど、それ以外にもお尋ねします。

会長：ホームページを見てもよくわかりません。ごみの出し方というのは大変重要ですから、何を見てすぐ情報を取りたいかということの方が必要です。

事務局：問いかけの部分を直します。一番効果のあるのは地域の回覧板ですが、現実にはタイムラグがあり、自治会に加入されていない方がだんだん増えてきているという問題もありますので、他の手法として、できるだけ大勢のみなさんに市からの発信を受け止めていただくには、どれが一番便利で速くて使いやすいのかというのを問いかけたかったので、ここは考えさせていただきます。

会長：他にいかがでしょうか。よろしいですか。

では、一つ一つ確認はできませんが、どれをどのように修正するかというのは確認しましたので、文言等はこれから今の意見に従って修正していただくようお願いいたします。今日承認を取らなければいけませんので、今確認した内容に従って修正するという前提で、この内容でよろしいか確認をしたいと思うのですが、みなさま、内容についてはこれを承認ということでもよろしいでしょうか。

(異議なし)

会長：では、承認したということで、よろしく願いいたします。活発な議論ありがとうございました。大変よいアンケートになったと思います。

(2) その他

事務局：今後のスケジュールについてご報告させていただきます。今日お配りした当日資料②をご覧ください。第1回の策定委員会のスケジュールをお渡ししていますが、若干変更させていただいている部分がありますので、今日お配りしたものをご覧ください。変わったところですが、1月の下旬ごろをめぐりに印刷して発送したいと思っております。2月の中旬すぎごろまでには回収して、その後集計に入り、その結果の報告を3月の中旬から下旬にかけて策定委員会を開催させていただきたいと思っております。また、来年度ですが、最初に第1回目にお配りしたスケジュールは6月の部分が空いていて、3月までのスケジュールをお出ししていましたが、6月の部分を埋めて、1か月程度前倒しして3月を空け、余裕を持たせるスケジュールにさせていただきました。そちらについては、進捗状況等によって変わってくる場合がございますので、あらかじめご了承ください。簡単ですが以上です。

会長：ありがとうございます。アンケートは何部送付しますか。

事務局：3,000世帯です。

事務局：予定として、住民基本台帳の12月1日現在のデータから抽出していきたいと考えております。

会長：その他何かありますか。

事務局：本日たくさんのご意見をいただきましたので、早速修正に入りたいと思いますが、本来であれば最初の部分をみなさんにご確認いただくのですが、今後のスケジュールの関係で、発送までに時間が限られておりますので、こちらでまず作成して修正させていただいたものを会長と副会長に最終的に確認いただいて、一任というかたち

でよろしいでしょうか。

会長：みなさんよろしいですか。副会長と私に一任させていただくということでよろしくお願いたします。

事務局：ありがとうございます。それでは早速そのように進めさせていただきます。次回の第3回策定委員会ですが、3月に開催させていただきたいとご説明させていただきました。またあらためて日程調整をさせていただきたいと思しますのでよろしくお願いたします。事務局からは以上です。

会長：どうもありがとうございました。みなさまのご協力により、無事終わることができました。大変よいアンケートができあがったと思います。以上で第2回策定委員会を終了したいと思います。ありがとうございました。

事務局：本日はどうもありがとうございました。

<閉会>